

ハンドヘルドlorリーククランプメータ  
**IOR500**

標準価格¥108,000 (税込¥118,800)

製品ページ



原寸大



抵抗分漏洩電流による適切な絶縁劣化判断に。

**漏電の真実を暴け**

あば

■ 1台で、3種の電流測定が可能



■ lor値とlo値の同時表示

■ より正確なlor測定のため「TrueR」理論採用

■ 活線状態で抵抗分漏洩電流(lor)を測定

■ 三相三線Δ結線でR相とT相の同時地絡検出  
Y結線でloの測定が可能。(600V以下の電路)

- 表示は2画面切替可能
- 最大値をホールドするMAXホールドモード
- ぶらつきのある数字を読みやすくAVGモード(移動平均値表示)
- データホールド機能
- バックライト付表示器
- オートパワーセーブ(約30分)、機能解除可
- 単4形アルカリ電池2本で長時間動作(連続170時間)
- パソコンでデータ収集(別売オプションIOR-USBが必要)が可能

測定範囲及び精度

IOR500	レンジ	精度	入力抵抗
基準電圧(R-T間、A-N間)	600.0V	±(0.5%+3)	約10MΩ
※基準電圧測定は2.2kHzのLPF(ローパスフィルタ)が入っています。振幅比: 2.2kHzで-3dB			
	レンジ(オートレンジ)	最高精度	
交流電流(mA・A)	99.99m/999.9mA	±(1%+5)	
	99.99/500A	0~300A ±(1.2%+5) 300.1~500A ±(3%+5)	
交流電流(lo)	99.99m/999.9mA	±(1%+5)	
※上記は基本波成分(50Hz/60Hz)の精度 ※精度保証範囲 0.80mA以上			
LPF機能	フィルター周波数性能	振幅比	
ON時	約150Hz	150Hzで-3dB、180Hzで-7dB	
	ファンクション	lor値表示範囲	
抵抗分漏洩電流(lor)	1P(単相)	0.00m~99.99mA、 100.0m~999.9mA	
	3P(三相)	0.00m~99.99mA、 100.0m~999.9mA 1000m~1155mA	

lorの精度: lorの測定値と精度は以下の演算式で算出されます。  
 単相(1Pファンクション):  $lor = lo \cdot \cos\theta$   
 三相(3Pファンクション):  $lor = lo \cdot \sin\theta / \cos 30^\circ$   
 \*θは基準電圧(V)と漏洩電流(lo)の位相角  
 lor精度 = lo精度 + θ(位相角)検出誤差からの演算値誤差  
 lorの精度は、上記演算式より以下で規定します。  
 lor精度: lor測定値にlo測定値の±3%のカウント数を加えた範囲  
 ※lorの精度保証はloが0.80mA以上  
 ※基本波成分を検出するため、LPF機能は無効にできません。

	表示範囲	精度
絶縁抵抗(演算値)	0.000MΩ~9.999MΩ	規定なし

※絶縁抵抗値(MΩ)は以下式で演算されます。MΩ = 測定された基準電圧(V) / lor  
 ※直流電圧印加で測定する絶縁抵抗計の測定値とは異なり、参考値となります。  
 ※9.999MΩ以上の時は、9.999MΩの表示となります。

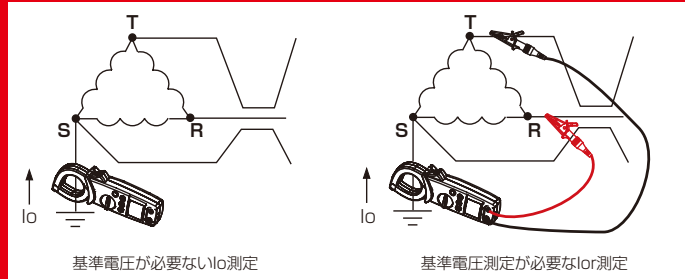
一般仕様

	レンジ(オートレンジ)
交流検波方式	平均値方式
液晶表示	最大9999カウント(上部及び下部数値部)
サンプリングレート	約4回/秒
オーバー表示	数値部に"OL"表示
電池消耗警告	約2.0V以下で表示部に電池マークが点灯または点滅
電流測定方式	クランプ式電流センサ(CT) 三相3線デルタ(V)結線(R相とT相のlocが平衡していること)
測定可能回路	単相3線(A相とB相が同時に地絡していないこと)、単相2線
電源	単4形アルカリ電池 1.5V(LR03)×2本
オートパワーセーブ	最終操作から約30分後に電源セーブ TYP 0.15mW (直前にプザー警告、延長・解除可能)
寸法・質量	H206×W83×D41mm/約325g
付属品	取扱説明書、テストリード(TL-26)、延長用リードセット(TL-27)、アリゲータクリップ(CL-26)、スパイラルチューブ8個、キャリングケース(C-IOR)

## Point 1 現場での使い勝手を追求

### クランプセンサ 一体型

持ち運びや測定を容易にするためクランプCTと本体を一緒にした一体型クランプメータ形状にしました。使用方法としては、通常はloを測定し、測定値が異常なときにlorを測定するやり方もあります。そんな時のために、テストリードを使わずクランプセンサのみでlo測定できる「lo」ファンクションを装備し、従来型リーククランプメータとlorクランプメータの2機能をひとつに収めました。



### lor値とlo値の同時表示

lor測定時にもlo値を参考にできるようにlorとloの同時表示になっています。表示部分が見づらい場所でも測定ができるように、MAXホールドモードを搭載しました。クランプセンサをセットしてからMAXホールドモードにし、その後クランプセンサをケーブルから外して手もとでlor最大値とlo最大値を見ることができます。暗い場所ではバックライトが使用できます。



### 測定現場を選ばないアクセサリ

巡視点検時に一人で漏洩電流を測定することがあります。その際、lorを測定するときは基準電圧を測定しなければなりません、アリゲータクリップが使いづらい端子やB接地線(基準電圧を取る場所から)離れている場合があります。その際、マグネット式コンタクトや延長用テストリードが役に立ちます。

#### 付属アクセサリ

<b>TL-26</b>	<b>TL-27</b>	<b>CL-26</b>	<b>C-I0R</b>
テストリード(全長約1.2m)	延長用リードセット(ジョイントアダプタ付 全長約3m)	アリゲータクリップ	キャリングケース
¥ 1,900(税込¥2,090)	¥ 3,500(税込¥3,850)	¥ 2,200(税込¥2,420)	¥ 2,000(税込¥2,200)

#### 別売アクセサリ

<b>IOR-USB</b>	<b>MC-1</b>	<b>ASJ201</b>	<b>TL-A51</b>
IOR-USB IOR USB通信ユニット(専用通信ソフトIOR Link付き)	マグネットマルチコンタクト	セイフティ・ジョークリップ	ピン式アダプタ
¥ 13,000(税込¥14,300)	¥ 8,500(税込¥9,350)	¥ 5,000(税込¥5,500)	¥ 2,000(税込¥2,200)

### パソコンでデータ収集が可能\*1

lorは絶縁劣化した機器が稼働している時と稼働していないときで異なる不安定な数値がでることがあります。このようなときにはlor探査器を設置し、いつ漏電が発生しているかを調べることができます。本製品はIOR-USBを利用してlorとloを記録することができます。\*2

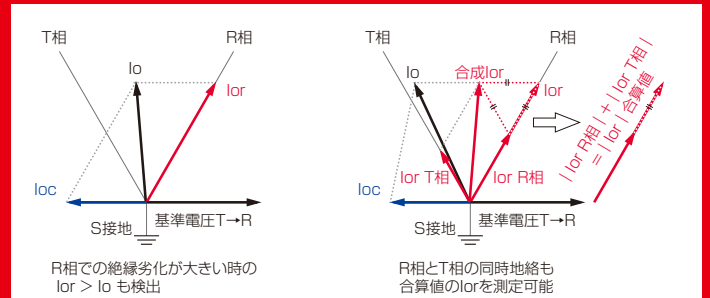
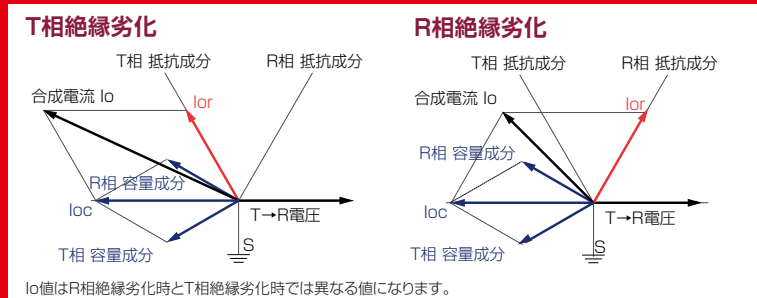
\*1 別売オプションIOR-USBが必要  
\*2 本体にはメモリー機能はありません。測定値は随時パソコンに送られパソコン内に記録されます。

長時間の記録監視も可能      取込時間の設定可能

## Point 2 より正確なlor測定のため「TrueR」理論の採用



ベクトル展開により、三相3線デルタ(V)結線、単相3線と単相2線のlorを正確に測定できます。接地線または複数線一括の電流測定と基準電圧測定が必要です。(TrueR理論はR相とT相の容量成分が平衡していることが条件です。)



●このカタログに記載された製品の仕様や外観は予告なく変更することがあります。●写真は印刷のため製品の色と異なる場合があります。また、写真の大きさは製品と同比率ではありません。●デジタル製品の液晶画面の表示はめ込み合成分りがあるのでコントラストやバックライト表示に違いがあります。●掲載製品(ソフトウェアも含む)は日本国内仕様であり、海外での技術サポートおよび保守サービスは行っていません。●Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

**sanwa**<sup>®</sup>  
三和電気計器株式会社

<http://www.sanwa-meter.co.jp>

三和製品についてのお問い合わせは

0120-51-3930      受付時間 9:30~12:00 13:00~17:00 (土日祝日を除く)

詳しくは弊社代理店にお問い合わせ下さい。

**本社**  
03-3253-4871(代)  
〒101-0021  
東京都千代田区外神田2-4-4 電波ビル

**大阪営業所**  
06-6631-7361(代)  
〒556-0003  
大阪市浪速区恵美須西2-7-2